

平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成15年3月14日

上場会社名 株式会社クロニクル 上場取引所 大
 コード番号 9822 URL http://www.chronicle-net.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 久保田 峰夫 TEL 03-5771-1200
 四半期報告書提出予定日 平成15年3月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績（平成24年10月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	468	△19.2	△97	—	△85	—	△87	—
24年9月期第1四半期	579	△26.7	△200	—	△210	—	△232	—

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 △87百万円 (-%) 24年9月期第1四半期 △232百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	△1.57	—
24年9月期第1四半期	△4.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第1四半期	774	304	38.8	5.36
24年9月期	705	392	55.0	6.93

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 300百万円 24年9月期 387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

この度発生致しました過年度の決算に疑義を与える事象について、現時点において合理的な算定が困難となっております。そのため、平成25年9月期第2四半期及び通期業績予想については、未定とさせて頂き、予想が可能となった時点で速やかに開示致します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年9月期1Q	55,969,237株	24年9月期	55,969,237株
25年9月期1Q	1,709株	24年9月期	1,709株
25年9月期1Q	55,967,528株	24年9月期1Q	53,800,861株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予測に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政権交代後の経済政策への期待感による円高の是正や株価の上昇等が見られるものの、欧州における金融不安や日中関係の悪化等により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、現在における当社グループの事業は、株式会社クロニクル及び株式会社クリエイト24による投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業として業態の住み分けを明確にした宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24並びに株式会社エフ・データクリエイションによるWEB情報事業、さらに、株式会社アメイジングバリューによるリサイクル事業及び流通サービス関連事業により展開しております。

当第1四半期連結累計期間における当社及び当社グループ全体の売上高は468百万円（前第1四半期連結累計期間は579百万円で前第1四半期連結累計期間比19.2%減）に止まり、経済環境の低迷による影響を受ける厳しい状況が続いております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[宝飾品事業]

利益率向上を目的とし、高級輸入時計を中心とするリセール・オークション事業や国内における小売営業展開を積極的に行い、シェア拡大・向上に務めておりますが、売上高は171百万円（前第1四半期連結累計期間は183百万円で前第1四半期連結累計期間比6.2%減）に止まり、現在の経済環境等による影響の下、厳しい事業展開を余儀なくされた結果となっております。

[WEB情報事業]

結婚情報サイト「ピュア・アイ」の運営、WEB広告や通信販売事業等を積極的に展開しておりますが、売上高は296百万円（前第1四半期連結累計期間は307百万円で前第1四半期連結累計期間比3.5%減）に止まりました。

[その他]

当該区分には、「投資事業」及び「流通サービス関連事業」並びに「リサイクル事業」がふくまれております。これらの事業は前第1四半期連結累計期間においては独立した報告セグメントとしておりましたが、当社グループ（当社及び当社の関係会社）全体の資金繰悪化及び人員不足等の理由により、事実上、休止状態にあるため、当第1四半期連結累計期間より「その他」の区分に変更しております。

なお、その他の売上高は0百万円（当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき算定した場合における前第1四半期連結累計期間は89百万円で前第1四半期連結累計期間比100.0%減）となっております。

以上の結果、売上高におきましては468百万円（前第1四半期連結累計期間は579百万円で前第1四半期連結累計期間比19.2%減）、営業損失におきましては、商品評価損11百万円及び広告宣伝費35百万円並びに貸倒引当金繰入額3百万円等の計上により△97百万円（前第1四半期連結累計期間は営業損失△200百万円）となりました。

経常損失におきましては、貸倒引当金繰入額62百万円等による営業外費用63百万円の計上により△85百万円（前第1四半期連結累計期間は経常損失△210百万円）となりました。

四半期純損失におきましては、減損損失0百万円等による特別損失の計上により△87百万円（前第1四半期連結累計期間は四半期純損失△232百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて68百万円増加し、774百万円となりました。

資産増加の主な内容は、商品の増加額67百万円等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて156百万円増加し、469百万円となりました。

負債増加の主な原因は、買掛金の増加額53百万円及び短期借入金の増加額92百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて87百万円減少し、304百万円となりました。

純資産減少の主な原因は、四半期純損失△87百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月19日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成23年9月期及び前連結会計年度である平成24年9月期、また、当第1四半期連結会計期間と連続して営業損失を計上しており、さらに、平成23年9月期及び前連結会計年度である平成24年9月期において営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、資金調達計画に基づく営業資金の確保や新規事業開拓等の活動資金確保の他、WEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、平成23年12月22日開催の第32期定時株主総会において承認決議されました新株予約権の発行に基づき、当該新株予約権者の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達の実行、また、新たな販売手法や顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告の拡大による新たな顧客層の獲得と販路の拡大、さらに、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大及びWEB情報事業等における新規事業の開拓により、売上高及び利益の拡大を見込んでおります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	106,838	73,364
売掛金	126,115	143,854
営業出資金	13,000	13,000
商品	180,020	247,383
繰延税金資産	8,635	8,635
その他	46,907	50,769
貸倒引当金	△24,904	△19,905
流動資産合計	456,613	517,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,977	24,977
減価償却累計額	△10,612	△10,711
減損損失累計額	△9,712	△9,712
建物及び構築物（純額）	4,652	4,552
工具、器具及び備品	95,106	67,118
減価償却累計額	△70,682	△44,518
減損損失累計額	△13,691	△14,062
工具、器具及び備品（純額）	10,733	8,536
車両運搬具	4,830	4,830
減価償却累計額	△2,570	△2,570
減損損失累計額	△2,259	△2,259
車両運搬具（純額）	0	0
有形固定資産合計	15,385	13,089
無形固定資産		
のれん	34,982	34,047
その他	11,257	13,451
無形固定資産合計	46,239	47,498
投資その他の資産		
投資有価証券	11,315	11,315
破産更生債権等	1,029,356	1,058,544
長期貸付金	24,457	22,997
長期未収入金	102,801	100,473
敷金及び保証金	88,554	87,879
その他	28,316	28,286
貸倒引当金	△1,097,546	△1,112,918
投資その他の資産合計	187,255	196,578
固定資産合計	248,880	257,166
資産合計	705,493	774,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,458	158,191
未払金	92,105	102,908
短期借入金	21,672	113,904
未払法人税等	18,323	19,344
賞与引当金	1,955	1,000
その他	54,544	56,216
流動負債合計	293,058	451,565
固定負債		
退職給付引当金	6,280	6,416
長期借入金	10,784	10,784
その他	2,936	735
固定負債合計	20,001	17,935
負債合計	313,059	469,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,070,385	5,070,385
資本剰余金	1,146,983	1,146,983
利益剰余金	△5,828,918	△5,916,584
自己株式	△525	△525
株主資本合計	387,924	300,257
新株予約権	4,510	4,510
純資産合計	392,434	304,767
負債純資産合計	705,493	774,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	579,574	468,359
売上原価	356,736	230,940
売上総利益	222,838	237,419
販売費及び一般管理費	423,008	334,545
営業損失(△)	△200,169	△97,126
営業外収益		
受取利息	149	134
受取配当金	15	—
為替差益	9,543	74,163
受取家賃	2,420	360
受取手数料	—	240
雑収入	232	267
営業外収益合計	12,361	75,165
営業外費用		
支払利息	5	357
支払保証料	32	32
貸倒引当金繰入額	22,760	62,772
雑損失	170	5
営業外費用合計	22,968	63,168
経常損失(△)	△210,776	△85,129
特別損失		
減損損失	19,878	970
固定資産除却損	—	619
特別損失合計	19,878	1,590
税金等調整前四半期純損失(△)	△230,655	△86,720
法人税、住民税及び事業税	488	945
法人税等調整額	1,097	—
法人税等合計	1,585	945
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△232,240	△87,666
四半期純損失(△)	△232,240	△87,666

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△232,240	△87,666
四半期包括利益	△232,240	△87,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△232,240	△87,666
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間（自平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）

当社グループは、平成23年9月期に△721百万円及び前連結会計年度である平成23年9月期に△625百万円、また、当第1四半期連結会計期間においても△97百万円と連続して営業損失を計上しており、さらに、平成23年9月期に△338百万円、前連結会計年度である平成24年9月期に△258百万円と営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、資金調達計画に基づく営業資金の確保や新規事業開拓等の活動資金確保の他、WEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、平成23年12月22日開催の第32期定時株主総会において承認決議されました新株予約権の発行に基づき、当該新株予約権者の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達の実行、また、新たな販売手法や顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告の拡大による新たな顧客層の獲得と販路の拡大、さらに、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大及びWEB情報事業等における新規事業の開拓により、売上高及び利益の拡大を見込んでおります。

しかし、上記の諸策のうち、新株予約権の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達については、平成23年12月29日及び平成24年6月15日において、新株予約権発行総数480個のうち、一部の権利行使（権利行使数：70個、発行株式数：7百万株、払込金額：140百万円）が実行されたものの、残りの当該新株予約権の権利行使に関しては、現時点において行使時期及び行使額は新株予約権者の判断に依存しております。また、売上高及び利益の拡大は外部要因に依存する部分が大きく、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認められます。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	宝飾事業	WEB情報事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	183,269	307,096	490,366	89,208	579,574
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,029	3,069	4,098	3,453	7,552
計	184,298	310,166	494,465	92,662	587,127
セグメント利益又は損失(△)	△36,385	△34,426	△70,811	△91,443	△162,255

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「流通サービス関連事業」及び「リサイクル事業」並びに「投資事業」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△162,255
セグメント間取引消去	304
のれん償却額	△38,370
棚卸資産の調整額	57
減価償却費の調整額	93
四半期連結損益計算書の営業損失	△200,169

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「WEB情報事業」セグメントにおける事業用資産である「ソフトウェア」について、当第1四半期連結累計期間において収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該「WEB情報事業」セグメントにおける当該減損損失計上額は、当第1四半期連結累計期間においては19,878千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	合計
	宝飾事業	WEB情報事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	171,958	296,365	468,324	35	468,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	466	856	1,322	1,830	3,152
計	172,425	297,221	469,647	1,865	471,512
セグメント利益又は損失(△)	△13,649	△12,433	△26,083	△71,382	△97,465

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「流通サービス関連事業」及び「リサイクル事業」並びに「投資事業」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△97,465
セグメント間取引消去	340
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業損失	△97,126

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「WEB情報事業」セグメントにおける事業用資産である「工具、器具及び備品」及び「ソフトウェア」について、当第1四半期連結累計期間において収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該「WEB情報事業」セグメントにおける当該減損損失計上額は、当第1四半期連結累計期間においては970千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、当該変更による影響は軽微であります。

（報告セグメントの変更等）

当第1四半期連結累計期間より、「流通サービス関連事業」及び「リサイクル事業」並びに「投資事業」に関しては、当社グループ（当社及び当社の関係会社）全体の資金繰悪化及び人員不足等の理由により、事実上、休止状態にあるため、「その他」の区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 重要な後発事象

(重要な子会社等の株式の売却)

当社は、平成25年1月31日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社ビジネスアルファ24株式を譲渡することを決議致しました。当該異動に伴い、当社の連結子会社である株式会社ビジネスアルファ24及び株式会社エーディーアンドディー（株式会社ビジネスアルファ24の100%子会社）は、当社の連結範囲より除外されることとなります。

1. 株式譲渡の理由

当社グループの事業は、昭和55年に宝石貴金属製品の卸売業として設立いたしました。その後、業界の流通経路の改革へのチャレンジを行い、ユーザー本位の販売体制を確立する事により、業界の新たな販売手法のパイオニアを目指し、宝石貴金属製品の卸売業に加え、小売業にも進出を行っております。

また、平成18年4月には株式会社アメイジングバリュー及び株式会社ドゥーズを設立いたしましたほか、平成19年4月には事業の多角化のため、M&Aにより株式会社ビジネスアルファ24を100%子会社化し、併せて同社の100%子会社である株式会社エーディーアンドディーを連結対象会社といたしました。更に、平成22年12月には、株式交換により株式会社エフ・データクリエイション及び株式会社クリエイト21（現：株式会社クリエイト24）の2社を100%子会社として連結対象会社と致しましたほか、株式会社クリエイト21（現：株式会社クリエイト24）が40%出資しております株式会社クリエイト21（現：株式会社クリエイト24）が40%出資しております株式会社ベルモアカフェが関連会社として持分法適用会社となりました（ベルモアカフェは、平成24年1月に譲渡）。

現在、当社グループの事業と致しまして、株式会社クロニクルによる投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業の2業態による宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24並びに株式会社エフ・データクリエイションによるWEB情報事業、さらに、株式会社アメイジングバリューによるリサイクル事業及び同社と株式会社クリエイト24による流通サービス関連事業の5事業により展開しております。

しかしながら、経済環境の低迷等による影響を受ける厳しい状況が続いており、平成24年9月期におけるグループ全体の売上高は2,108百万円、営業損失は△625百万円となり、経常損失は△645百万円、当期純損失は△2,205百万円となりました。

また、株式会社ビジネスアルファ24及び株式会社エーディーアンドディーにつきましては、結婚情報サイト、WEB広告、WEB通販を始め、WEB関連事業等を中心に営業活動を行っておりますが、情報端末である携帯電話についてもフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行が急速に進んでいるため、そのためのシステム投資が増加し、近年は当期純損失を計上するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような厳しい状況下において、今後の当社グループの事業の方向性として原点回帰を図り、事業の選択と集中を進めるためこの度、連結子会社の株式の譲渡を行うこと致しました。今般の株式の異動に伴い、当社の設立来進めておりますリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業の2業態による宝飾品事業に注力を行い、再度業界のリーディングカンパニーを目指し、販売チャネルの見直しや、商品構成の再検討など、主力事業の立て直しを行い、売上規模の拡大による黒字化を目指してまいります。

なお、今般の株式譲渡に伴い、株式会社ビジネスアルファ24及び株式会社エーディーアンドディーにつきましては、当社の連結子会社から外れることとなりますが、同じく当社グループのWEB情報事業の株式会社エフ・データクリエイションにつきましては、株式譲渡を行わず、継続して当社グループ内において事業を行って参りますとともに、当社グループのWEB情報事業につきましても、継続して事業展開を行います。

2. 株式譲渡先の概要

- ① 商号：株式会社マイクロン
- ② 本店所在地：東京都新宿区新宿5-5-3
- ③ 代表者の役職・氏名：代表取締役 日暮知明
- ④ 事業内容：広告業および広告代理業、コンピュータープログラムの開発、販売
- ⑤ 資本金の額：25,000千円
- ⑥ 設立年月日：平成24年2月21日
- ⑦ 株主及び持分比率：株式会社エムツープレイン100%
- ⑧ 決算期：3月
- ⑨ 従業員数：78名
- ⑩ 当社との関係等
資本関係：該当事項はありません。
人的関係：該当事項はありません。

取引関係：該当事項はありません。

関連当事者への該当状況：該当事項はありません。

※ 最近事業年度末における純資産、総資産は、同社が非上場企業のため、当社に情報開示されておりません。

3. 売却の時期

取締役会決議日：平成25年1月31日

譲渡契約締結日：平成25年1月31日

決済日：平成25年1月31日

4. 当該子会社等の名称、事業内容及び会社との取引内容

(1) 株式会社ビジネスアルファ24

① 商号：株式会社ビジネスアルファ24

② 本店所在地：東京都港区南青山2-27-20

③ 代表者の役職・氏名：代表取締役 久保田峰夫

④ 事業内容：WEB情報事業

⑤ 資本金の額：1,000万円

⑥ 設立年月日：平成12年2月1日

⑦ 株主及び持分比率：当社 100%

⑧ 決算期：9月

⑨ 従業員数：0名

⑩ 当社との関係等

資本関係：当社の100%子会社であります。

人的関係：当社の取締役が代表取締役を兼務しており、また当社の取締役3名、監査役1名が同社の取締役、監査役を兼務しております。

取引関係：平成25年1月31日現在、当社に対し2,022,100千円の貸付けを行っております。

関連当事者への該当状況：当社の子会社であります。

(2) 株式会社エーディーアンドディー

① 商号：株式会社エーディーアンドディー

② 本店所在地：東京都渋谷区渋谷2-11-8

③ 代表者の役職・氏名：代表取締役社長 澤口慶太

④ 事業内容：WEB情報事業

⑤ 資本金の額：1,000万円

⑥ 設立年月日：平成14年7月12日

⑦ 株主及び持分比率：株式会社ビジネスアルファ24 100%

⑧ 決算期：9月

⑨ 従業員数：25名

⑩ 当社との関係等

資本関係：当社100%子会社である株式会社ビジネスアルファ24の100%子会社あります。

人的関係：当社の取締役3名、監査役1名が同社の取締役、監査役を兼務しております。

取引関係：該当事項はありません。

関連当事者への該当状況：当社の孫会社であります。

5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率

① 売却する株式の数：株式会社ビジネスアルファ24株式200株

② 売却価額：2,433,127千円

当該売却価額は、株式会社ビジネスアルファ24及び株式会社エーディーアンドディーの平成24年9月期末時点の財務諸表を基に、株式会社マイクロンと当社が協議し決定致しました。

なお、当該売却価額のうち200,000千円を金銭によって支払い、残額2,233,127千円（元本2,022,100千円及び未払利息211,027千円）は、当社が株式会社ビジネスアルファ24に対する借入債権と対当額で相殺する方法によって支払われることとします。

③ 売却損益：売却益1,664千円

④ 売却後の持分比率：全株売却により一株（持分比率：－%）

6. 今後の見通し

当該株式売却の実行により、同社は平成25年2月より、当社の連結範囲から除外されることとなります。

平成25年9月期の当社の連結業績及び譲渡損益に与える影響につきましては、現在精査中であり、確定次第速やかに公表致します。

また、株式会社ビジネスアルファ24及び株式会社エーディーアンドディーの役員構成につきましては、当社から派遣する役員については、本日付にて全員退任いたします。

7. その他重要な特約等
該当事項はありません。